くまもと新時代共創基本方針

「くまもと新時代共創基本方針」とは、これまでの地方創生の取組みの成果と課題、さらには本県を取り巻く社会情勢の変化等を踏まえた、県政運営の基本的な考え方を示すものです。この基本方針のもと、“共に未来を創る”という視点に立ち、県民の皆様と共に熊本の更なる発展に向けて、県民が主人公の県政を推進します。

【基本理念】 県民みんなが安心して笑顔になり、持続的で活力あふれる熊本の未来を共に創る
～世界に開かれた熊本、世界へ羽ばたく熊本～

- **■世界に広がる（国際）**
  - ・国の経済安全保障政策の中核となる世界的な半導体関連企業の進出も踏まえ、地域活力の創生に向けた取組みを推進。
  - **人・モノ・ビジネスの国際的な交流**も加速・拡大。
  - ・熊本県の強み（農林畜水産業、バランスの取れた産業、自然環境、防災力等）を更にステップアップさせ、**世界に挑戦する県、「くまもと新時代」**を目指す。
- **■人を育てる（人材）**
  - ・地域活力に不可欠な**「人材」の育成**と、若者や高齢者、障がいのある人、女性など全ての人が自ららしく輝くことのできる社会を実現。
  - ・個性と力を発揮できる**「活躍の場」の創出**を進め、さらなる「人材」の流入も促進。
- **■共に創る（共創）**
  - ・こうした考えに基づき、「県民が主人公の県政」を進め、県民みんなが安心して笑顔になり、持続的で活力あふれる熊本の未来を県民の皆様と**共に創る。**

取り組みの方向性と実現に向けた施策

1 こどもたちが笑顔で育つ熊本	2 世界に開かれた活力あふれる熊本	3 いつまでも続く豊かな熊本	4 県民の命、健康、安全・安心を守る
（施策1）こども・若者がキラキラ輝く社会づくり	（施策1）「くまもとで働く」人材の確保・育成	（施策1）豊かな自然の保全	（施策1）「緑の流域治水」を核とした創造的復興
（施策2）家庭や子育てに夢を持てる社会づくり	（施策2）世界に伍する産業拠点熊本の創出	（施策2）移住定住、関係人口創出	（施策2）災害に強い県土づくり
（施策3）質の高い教育・未来を担う人材の育成	（施策3）「食のみやこ熊本県」の創造	（施策3）魅力ある地域づくり	（施策3）健康で長寿な社会の実現
	（施策4）スポーツ、観光、文化芸術の振興	（施策4）社会の多様性	（施策4）安全・安心の地域づくり
	（施策5）交通の利便性向上		（施策5）水俣病問題への対応

※［　　］の施策の中で道路整備を推進します。

自転車走行環境の整備

自転車は、環境に優しい交通手段であり、災害時の移動・輸送や国民の健康の増進、交通の混雑の緩和等に資するものであることから、「熊本県自転車活用推進計画（第2次）」を策定し、自転車の活用推進を図る取り組みを実施しています。

■ 熊本県自転車活用推進計画（第２次）

【目標1】 自転車が地域の基礎的な移動手段として利用できる交通環境を構築
1. 路外駐車場等の整備、違法駐車取締りの推進
2. シェアサイクル等の普及促進
3. 地域のニーズに応じた自転車駐車場の整備促進
4. 自転車通勤等の促進

【目標2】 自転車で楽しみながら健康づくりができる環境を創出
5. 自転車を活用した健康づくりの促進

【目標3】 自転車が行きから観光地域づくりを推進
6. サイクルツーリズムの推進
7. 九州・山口と連携したサイクルツーリズムの推進
8. ナショナルサイクルルート指定の推進

【目標4】 全ての道路利用者が安全で快適に利用できる道路環境を創出
9. 自転車通行空間等の整備促進
10. 自転車の安全利用の促進、安全普及の向上
11. 学校における交通安全教育の推進
12. 安全性の高い自転車購入、自転車の点検整備、自転車損害賠償保険への加入の促進等
13. 災害時における自転車活用の促進

自転車通行帯の整備事例（熊本市）　イベント実施状況

参考：熊本県における主要なサイクリングルート

■ ナショナルサイクルルートの指定に向けた取組み

ナショナルサイクルルートとは、自転車を活用して新たな観光価値を創造し、地域の創生を図るため、令和元年度に国が創設した制度です。世界に誇りるサイクリングルートとして国内外にＰＲを行い、サイクルツーリズムを強力に推進していくものであり、全国で6箇所指定(R8.3月時点)されています。
本県では、天草地域において、九州初のナショナルサイクルルート指定を目指しています。

対象ルートの概要

熊本県の概況

1.地形と自然

熊本県の面積は、約7,409㎢であり、全国では15位、九州では鹿児島、宮崎県に次ぐ広さを有しており、県土の約62%が森林となっています。北部の地形は比較的緩やかですが、北東部に阿蘇火山、東部に九州山地が走り、西部は遠浅な有明海、八代海に面しており、天草諸島は大小120余の島々からなっています。

自然公園は、阿蘇くじゅう国立公園、雲仙天草国立公園、耶馬日田英彦山国定公園、九州中央山地国定公園、7つの県立自然公園があります。

2.人口

熊本県の人口は、令和2年の国勢調査によると約174万人となっており、九州では福岡県に次ぐ人口を有しています。特に県内の人口は、全国平均と比べ減少傾向にあるなか、都市圏衛星では増加傾向にあり、全国平均を大きく上回っています。

3.産業

肥沃な大地と豊富な油場に恵まれ、農林水産業が盛んです。中でも、いい草、すいか、トマト、葉たばこ等の生産は全国でも上位を占めています。第二次産業は世界的半導体企業の熊本進出を契機に、半導体関連（集積回路製造業及び半導体製造装置製造業）企業の集積が進んでいます。第三次産業は、県内純生産の約7割（2021年）を占め、特に卸売業・小売業が盛んです。

4.平成28年熊本地震の概要

4月14日、熊本県熊本地方でマグニチュード6.5の地震（前震）が発生しました。さらに、4月16日、同地方でマグニチュード7.3の地震（本震）が発生し、これらの地震はいずれも最大震度7を観測しました。同一地域で震度7を二度観測したのは観測史上初めてのことです。

多くの人的被害や住家被害、公共施設にも甚大な被害が発生しました。特に南阿蘇村立野地区では、大規模な山腹崩壊による国道の寸断や阿蘇大橋の崩落が発生しました。

寸断された道路の復旧工事が国の直轄代行により行われ、令和元年9月に俵山トンネルルート、令和2年10月に北側復旧道路、そして、令和3年3月には国道325号新阿蘇大橋が開通し、阿蘇へのアクセスルートが全て回復しました。

【平成28年熊本地震の概要】		
	前震	本震
発生日時	平成28年4月14日21時26分	平成28年4月16日1時25分
震央地名	熊本県熊本地方	同左
マグニチュード	6.5	7.3
震度7	益城町	益城町、西原村
震度6弱以上を観測した自治体	震度6弱 なし	熊本市、菊池市、宇土市、宇城市、合志市、大津町、菊陽町、菊陽町、阿蘇市、和水町、南関町、嶺町町、美里町、山都町、木川町
	震度6強 熊本市、玉名市、宇城市、菊陽町、西原村	八代市、玉名市、上天草市、阿蘇市、天草市、和水町、南関町、嶺町町、美里町、山都町、木川町
住家被害	約19万8,000棟超（うち全壊約5,600棟）	
被災公共土木施設（国・県・市町村管理）	約3,400箇所	

土砂崩壊により断たれた国道57号と崩落した国道325号阿蘇大橋付近

令和3年3月に開通した新阿蘇大橋

5.令和2年7月豪雨の概要

7月3日夜、梅雨前線が九州北部地方まで北上し、九州では大気の状態が非常に不安定となり、7月3日から4日までの2日間で、7月の平年雨量約1か月分を超える激しい雨となりました。

特に、県南地域を流れる球磨川流域では線状降水帯が形成され、時間雨量30mmを超える激しい雨が7月4日未明から明にかけて、8時間にわたり降り続けました。これにより100橋梁が流失し、国道219号や県道等で土砂流入、路体流出などの甚大な被害が発生しました。

流失した10の橋梁と球磨川沿線の国道219号及び対岸道路（県道等）は、国による直轄代行工事により、令和5年2月に西瀬橋（人吉市）、令和7年3月に神瀬橋（球磨村）、令和7年11月に天狗橋（人吉市）および松本橋（球磨村）の復旧が完了しました。令和8年2月には、国道219号（八代市渡町～坂本橋）の嵩上げ工事、ならびに坂本橋が完成し、一般車両の通行が可能となりました。残る5橋については本格的な復旧工事が推進されています。

6.令和7年8月豪雨の概要

8月6日から11日にかけて、前線が九州付近に停滞し、前線に向かって大陸からの西風と太平洋高気圧周辺からの南西風が合流し、湿かく湿った空気が流れ込み大気の状態が非常に不安定となりました。県内に線状降水帯が発生し、「記録的短時間大雨情報」が15回発表されました。

県内では、県央、県南地域を中心に、孤立集落が発生しましたが、「熊本県道路啓開計画」に基づき迅速に対応を行い、8月19日までに道路啓開作業を完了し、全ての孤立が解消しました。

県が管理する国道・県道では、土砂崩れや路面崩壊などにより64箇所で通行止めが発生しましたが、発災直後から県土・倒木撤去など応急対応を進め、令和8年3月には、被害が甚大で応急対応が困難な4箇所を除き、通行止めは解消しました。特に、代替路のない天草2号橋と3号橋の間で発生した国道266号（上天草市）の法面崩壊においては、約17時間で応急工事を完了させ、人流・物流への影響を最小限に抑えました。

引き続き、道路施設の早期復旧に取り組み、安全安心な生活道路の確保を進めていきます。

【令和2年7月豪雨の概要】（令和3年3月30日現在）

発生日	令和2年（2020年）7月3日～4日
主な被災地域	令和2年（2020年）7月3日～4日 八代市、人吉市、芦北町、津奈木町、錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村など
被害規模	全壊 1490棟 半壊 3095棟 床上浸水 294棟 床下浸水 427棟
道路被害箇所	道路 1560箇所 517箇所 橋梁 35箇所 343箇所

※道路及び橋梁の被害箇所数・被害額は、県と市町村の合計。

国道219号 被災状況（球磨村）

国道219号 復旧状況（R8.2.14）

【令和7年8月豪雨の概要】（令和8年3月9日現在）

発生日	令和7年（2025年）8月10日～11日
主な被災地域	熊本市、宇土市、宇城市、美里町、甲佐町、山都町、玉名市、玉東町、八代市、氷川町、上天草市、天草市など
被害規模	全壊 28棟 半壊 2696棟 床上浸水 10棟 床下浸水 62棟
道路被害箇所	道路 923箇所 156箇所 橋梁 12箇所 6.9箇所

※道路及び橋梁の被害箇所数・被害額は、県と市町村の合計。

国道266号 被災状況（上天草市）

国道266号 応急対応後（上天草市）

熊本県新広域道路交通計画

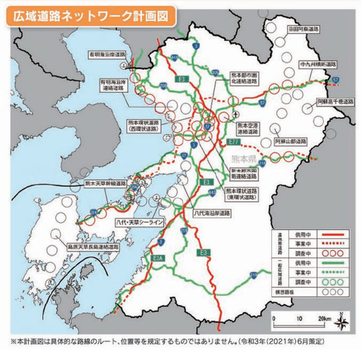
熊本県・熊本市では、新たな国土構造の形成、グローバル化、国土強靱化などの社会・経済の要請に応えるとともに、総合交通体系の基盤としての道路の役割強化やICT・自動運転等の技術の進展を見据え、今後20～30年間の中長期的な視点で検討を行い、「熊本県新広域道路交通計画」を令和3年6月に策定しました。

本計画では、九州中央自動車道・南九州西回り自動車道・中九州横断道路・有明海沿岸道路・熊本天草幹線道路等に加え、熊本都市圏における慢性的な交通渋滞など、喫緊の課題に対応するため、熊本市中心部から高速道路インターチェンジまでを約10分、熊本空港までを約20分で結ぶ「10分・20分構想」を掲げ、「熊本都市圏北連絡道路」「熊本都市圏南連絡道路」「熊本空港連絡道路」を3つの新たな高規格道路として位置づけました。

この「10分・20分構想」の早期実現に向けて県と周辺自治体、経済界等が一体となって取り組むため、令和4年8月に「熊本都市圏3連絡道路建設促進協議会」を設立し、令和5年9月には、熊本都市圏のみならず、県内全ての市町村が参画しました。また、令和5年11月に熊本都市圏3連絡道路有識者委員会を設立し、「住民参加型の道路計画検討」に着手しました。

令和7年5月から8月にかけ、地域や道路の課題等に関して第1回意見聴取を実施し、令和8年3月に開催した第3回有識者委員会では、意見聴取の結果を踏まえ、3連絡道路が果たすべき役割を改めて確認して設定しました。

広域道路ネットワーク計画図



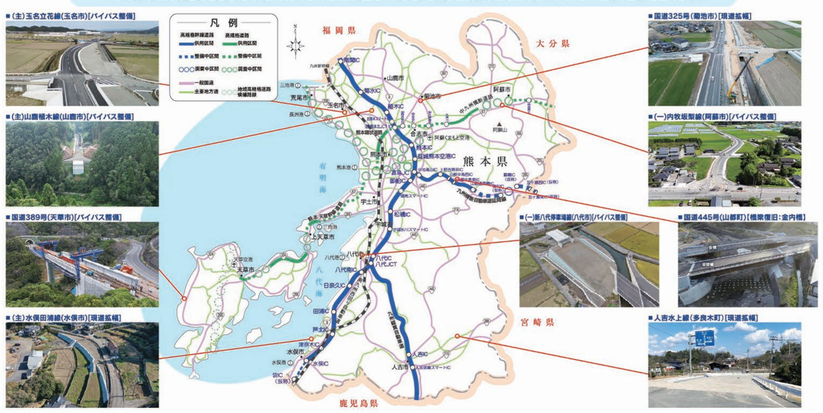
※本計画図は具体的な路線のルート、位置等を規定するものではありません。（令和3年（2021年）6月策定）

高規格道路	・高速自動車国道一体的に機能する広域的な公園路ネットワーク	●九州自動車道 ●九州中央自動車道 ●南九州自動車道 ●熊本天草幹線道路	●熊本環状道路（西環状道路） ●熊本環状道路（東環状道路） ●有明海沿岸道路	●熊本都市圏北連絡道路 ●熊本都市圏南連絡道路 ●熊本空港連絡道路
幹線道路網	・広域道路のうち、高規格道路以外 ・サービス速度が概ね40km/h以上	●国道3号 ●国道57号 ●国道208号 ●大分県状道路	●玉名貝塚連絡道路 ●八代人吉道路 ●人吉戸木真茶道路 ●人吉西米良道路	●熊本港連絡道路 ●八代港連絡道路 ●熊本天草道路 ●熊本・城河道路
補助幹線道路	・広域道路としての役割が期待されるため、今後、地域の実情に応じて必要な検討を行う道路	●島原天草長島連絡道路 ●八代～天草シーライン ●八代海沿岸道路	●日田河原道路 ●阿蘇山麓道路 ●阿蘇高千穂道路	●有明海沿岸連絡道路

10分・20分構想

計画的な整備による道路網の強靭化 ～災害に強い道路づくり～

1. 住みやすいまちの形成を図るため、公共施設や医療施設など都市機能を有する地域と周辺の居住地域を結ぶ道路整備を進めます。
2. 児童生徒の安全安心な通学路の実現を図るため、通学路の要対策箇所について、整備を進めます。
3. 産業拠点と広域的な物流結節点との相互アクセス性を向上させ、物流の効率性を高めるための道路整備を進めます。
4. 広域的な観光活性化を図るため、観光拠点と交通拠点（空港・ICなど）を結ぶ道路や、観光拠点間のアクセス道路の整備を進めます。



道路の現状

【道路網】

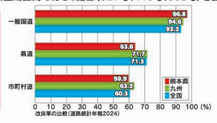
①現況
●熊本県内の道路は、43,302路線、26,217㎞
このうち県管理道路は、256路線、3,523㎞
（一般国道指定区間外：20路線、891㎞
県道：236路線、2,632㎞）

・熊本県内の道路　令和5年3月31日現在(出典:道路統計年報2024)

道路種別		路線数	実延長(㎞)	延長割合(%)	改良率(%)	主な路線
高速自動車国道		2	147	0.6%	100.0%	九州縦貫自動車道、九州中央自動車道
一般国道		23	1,268	4.8%	96.8%	
	指定区間	3	340	1.3%	100.0%	3号、57号、208号
	指定区間外	20	928	3.5%	95.6%	212号ほか
県道		252	2,958	11.3%	63.6%	熊本玉名線ほか
市町村道		43,025	21,845	83.3%	59.9%	
合計		43,302	26,217	100.0%	62.3%	
うち県管理道路		256	3,523	13.4%	70.2%	一般国道（指定区間外）、県道

・自転車は含まない。　・熊本市内の国道・県道（16路線）は、熊本市管理。
・一般国道の数値には、有料道路区間や一般国道の自動車専用道路も含まれる。
・一般国道指定区間外の路線数には、重用区間である3路線（327号、446号、503号）を含む。

②整備状況
●熊本県内の道路改良率は、グラフのとおり。
熊本県内道路のうち、県道と市町村道の改良率が、全国及び九州平均を下回っています。



■高規格幹線道路

高規格幹線道路は、自動車の高速交通（80～100km/h）の確保を図る自動車交通網を構成する自動車専用道路であり、高速自動車国道及び一般国道の自動車専用道路として整備が進められています。

高規格幹線道路　約14,000㎞（全国）

国幹道法に基づく高規格幹線道路
国土開発幹線道路（高速自動車国道）約11,520㎞（全国）
※九州縦貫自動車道、九州中央自動車道

国土交通大臣の指定に基づく高規格幹線道路
一般国道の自動車専用道路 約2,480㎞（全国）
※南九州西回り自動車道

◆高規格幹線道路の整備状況
・本県と全国、九州比較　令和8年(2026年)3月1日時点

	計画延長(km)	供用延長(km)	供用率
全国	14,000	12,338	88.1%
九州	1,513	1,369	90.5%
熊本	227.8	199.9	87.8%

・本県における状況　令和8年(2026年)3月1日時点

路線名	延延長(km)	県内延長(km)	供用延長(km)	供用率
九州縦貫自動車道	428.0	134.8	134.8	100.0%
九州中央自動車道	95.0	42.0	23.0	54.8%
南九州西回り自動車道	142.0	51.0	42.1	82.5%
計	665.0	227.8	199.9	87.8%

■地域高規格道路

地域高規格道路は、高規格幹線道路を補完し、地域相互の交流促進や、広域交通拠点等への連絡強化を図るため、自動車専用道路又はそれと同程度の機能を有する質の高い規格（概ね60km/h以上のサービス速度）を有する道路です。

◆地域高規格道路の整備状況
・本県における状況　令和8年(2026年)3月1日時点

路線名	延延長(km)	県内延長(km)	供用延長(km)	供用率
中九州横断道路	120.0	60.0	11.9	19.8%
熊本環状道路	30.0	30.0	27.0	90.0%
熊本天草幹線道路	70.0	70.0	18.3	26.1%
有明海沿岸道路	85.0	30.0	0.0	0.0%
計	305.0	190.0	57.2	30.1%

●熊本県内の高規格幹線道路の整備は、九州縦貫自動車道など縦軸の整備に比べて、横軸を形成する九州中央自動車道の整備が遅れています。
また、地域高規格道路の整備は、30.1%の供用率に留まっています。

高規格道路ネットワークの整備 ～すべての道はくまもとに通じる～

「すべての道は熊本に通じる」という考えのもと、物流の効率化・人流の円滑化を図るとともに、九州圏内のダブルネットワーク構築に向け、「九州中央自動車道」や「中九州横断道路」、「南九州西回り自動車道」、「有明海沿岸道路」など、高規格道路の整備を促進します。
また、熊本都市圏と県内主要都市を90分で結ぶ「90分構想」の実現に向け、熊本天草幹線道路の整備を推進します。

激甚化・頻発化する災害への対応

令和2年7月豪雨からの復旧

球磨川の流失橋梁（10橋）、国道219号及び対岸道路等（両岸延長約100km）の早期復旧に向け、国の権限代行により災害復旧事業が進められています。（流失橋梁10橋のうち5橋完成）

■ 復旧状況
・令和2年9月に西瀬橋（人吉市）、令和3年5月に坂本橋（八代市）などの仮復旧工事が完了。
・令和4年12月、坂本橋（八代市）など5橋について本復旧工事に着手。
・令和5年2月、西瀬橋（人吉市）の本復旧が完了。
・令和5年11月、未着手であった深水橋（八代市）、神瀬橋（球磨村）、相良橋（球磨村）、天狗橋（人吉市）の4橋も本復旧工事に着手。
・令和7年3月に神瀬橋（球磨村）、令和7年11月に天狗橋（人吉市）および松本橋（球磨村）の本復旧が完了。
・令和8年2月に国道219号の嵩上げ工事（上り）が完了し、全国道が通行可能となった。（八代市渡町～坂本町の一部区間の通行は可能になる。）

（R8.1月時点）

（R7.12月時点）

■ 整備状況　国道445号（九折瀬工区）（五木村）　■ 整備状況　国道445号（四浦東）（相良村）

八代市渡神事所より建映（R8.1月時点）　熊本地震 被災状況（平成28年4月）　高速熊本高森線（放棒交差点）

五木村・相良村の振興

五木村については「ひかり輝く」新たな五木村振興計画」等に基づき、相良村については「未来につなげるむらづくり」の実現に向けて、「国道445号」や「県道宮原五木線」等の整備による道路ネットワークの強靭化を推進します。

平成28年熊本地震からの復興

熊本地震により甚大な被害を受けた県道熊本高森線において、発災から10年の節目となる令和8年3月20日に全線3.8kmの供用を開始しました。

道路に関する予算

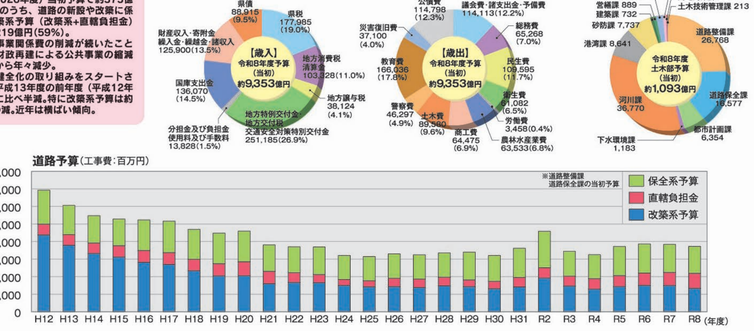
■道路予算の推移

○本県の道路予算（工事費）は、令和8年度（2026年度）当初予算で約373億円。このうち、道路の新設や改築に係る改築系予算（改築系+直轄負担金）が約219億円(59%)。
○公共事業関係費の削減が続いたことや同財政再建による公共事業の縮減などから年々減少。
○財政健全化の取り組みをスタートさせた平成13年度の前年度（平成12年度）に比べ半減。特に改築系予算は約7割の減。近年は横ばい傾向。

■令和8年度熊本県当初予算（一般会計）

※単位：百万円（　）内は構成比
※各項目についての計数は、表示単位未満を四捨五入したもので、その内訳は合計と一致しない場合があります。

■土木部各課の予算状況（一般会計）



熊本県 土木部 道路都市局 道路整備課・道路保全課
〒862-8570
熊本市中央区水前寺6丁目18-1　TEL:096-383-1111(代)
ホームページアドレス：https://www.pref.kumamoto.jp/
©2010 熊本県くまモン
発行者：熊本県 土木部
所　属：道路都市局 道路整備課
発行年：令和8年4月

熊本都市圏の渋滞対策

「渋滞解消推進本部」の取組み

熊本都市圏の渋滞問題は、特に菊池南部地域における半導体企業の進出なども相まって、今後、対策を講じなければ更に深刻化することが予想されます。県では、渋滞対策を迅速かつ強力に推進するため、令和6年6月に「渋滞解消推進本部」を設置し、短期・中期・長期の対策に、関係者が一丸となって取り組んでいます。

短期	信号制御の高度化等のソフト対策や右折レーン左折レーン等の延伸・設置など渋滞緩和に即効性のあるハード対策など（既設ストックの有効活用）
中期	都市計画道路等の整備・公共交通ネットワークの形成（交通アクセス鉄道の整備、JR豊肥本線の機能強化等）など
長期	熊本都市圏3連絡道路等の新たな道路ネットワーク整備（10分・20分構想）
その他	パークアンドライド（P&R）の実施、通勤バスの利用などの啓発（継続して行う取組み）

［短期・中期・長期の取組み］

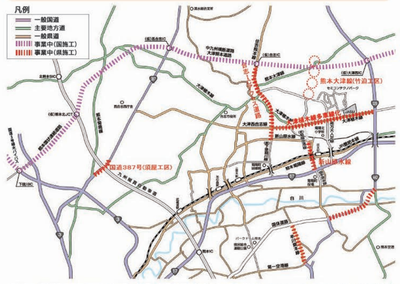
熊本県渋滞解消推進本部会議（令和7年度 第2回本部会議 R7.12）

■ 車の「流れ」を良くする取組み
◆加速化対策（短期）：交差点改良や信号制御の最適化
⇒都市圏東部エリアやセミコンパークエリアを中心に、3年以内に、県と熊本市で30か所の交差点改良等を実施する。
◆抜本対策（中期）：道路ネットワーク整備等の推進
⇒国・県・市で連携を図り、道路ネットワーク整備等を着実に推進し、10年以内に、主要渋滞箇所約80か所の改善に向けて取り組む。
◆抜本対策（長期）：広域道路ネットワークの構築

■ 交差点改良の整備効果（竹迫交差点：合志市）

セミコンテクノパーク周辺地域の道路整備

世界的半導体企業の進出を契機として新生シリコンアイランド九州を実現させ、その効果を日本全体に波及させるため、中九州横断道路の整備を促進します。
また、半導体関連産業の集積に伴う物流の効率化と人流の円滑化を図るため、県道大津植木線の多車線化や中九州横断道路合志インターチェンジへのアクセス道路などの整備を短期・集中的に進め、基幹となる道路ネットワークの強化に取り組みます。


凡例
一般国道
主要地方道
一般県道
事業中区間（国交省）
事業中区間（県）
熊本大津線（竹迫交差点）
熊本大津線（竹迫交差点）
国道387号（須屋工区）
竹迫交差点
合志市
菊陽町
熊本市
大津町
西原村
南阿蘇村
御船町
嘉島町
益城町
甲佐町
山都町
宇城市
八代市
氷川町
芦北町
津奈木町
錦町
多良木町
湯前町
水上村
相良村
五木村
山江村
球磨村
人吉市
あさぎり町
多良木IC
湯前IC
水上村IC
相良IC
五木IC
山江IC
球磨IC
人吉IC
あさぎり町IC
（仮称）相良IC
（仮称）五木IC
（仮称）山江IC
（仮称）球磨IC
（仮称）人吉IC
（仮称）あさぎり町IC
（仮称）相良村IC
（仮称）五木村IC
（仮称）山江村IC
（仮称）球磨村IC
（仮称）人吉市